

ふたば未来学園「未来創造探究」 ヘルスプロモーションの講義

2021年6月23日（水）に福島県立ふたば未来学園高等学校（福島県双葉郡広野町中央台1-6-3、柳沼英樹校長）の2年生「健康と福祉探究ゼミ」（中野みずき教諭）で、運動生態学研究室の江川賢一教授による「ヘルスプロモーション」をテーマとしたオンライン講義を実施しました。

ふたば未来学園はこれからの社会を創造する人材の育成を目指して、地域の課題を生徒自身が設定し、その課題解決のための実践や提言を行う授業「未来創造探究（総合的な探究の時間）」でゼミ活動に取り組んでいます。「健康と福祉ゼミ」に参加している高校生は、地域課題を発見し、まちぐるみの健康づくりを計画しています。

オンライン講義では、子どもから大人までを対象としたライフステージ別の健康づくりの事例を紹介し、広野町、福島県、日本、アジア、世界全体のヘルスプロモーションの現状について取り上げました。運動生態学研究室での「食」と「運動」を中心とした研究テーマが、自分自身の健康、家庭や地域の人々の健康、さらに地球の健康（Planetary Health）につながることを解説しました。

講義後には、「もっと色々な障がい者スポーツを調べてみたい、考えたりしたい」「実際に一緒にやってみたり、障害を持った方にも知ってもらいたい」「自分が知りたかったことを詳しく知れてよかった」「先生との質疑応答で、スポーツという考えから昔遊びなどの考えがでてきて、探求が楽しみになってきた」「これから何をすればいいのか見えてきた気がする」などの感想がありました。中野先生からは、「生徒たちの新たな一面を知ることができました。」との感想が寄せられました。

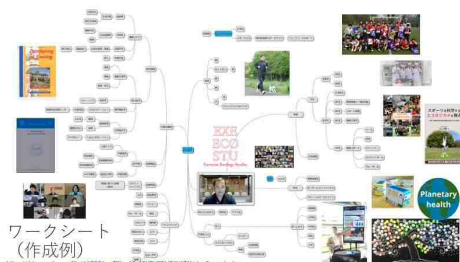
オンライン講義で、高校生の総合的な探求をサポート



リモートでディスカッション



ワークシートで課題を整理



「スポーツと健康」ゼミでも健康づくりに取り組む

2022年1月26日（水）の「スポーツと健康ゼミ」（高野寛之教諭、目黒祐太教諭）では、「パークゴルフで地域活性化」「みんなの怪我を減らすためには？」を探究テーマにしている高校2年生とディスカッションしました。

長く続くコロナ禍でスポーツの実施が難しい中、地域住民の健康課題を発見し、解決するための方法を探索しました。

探究活動で学んだ知識をSNSやYouTubeなどで情報発信するためのアドバイスをしました。具体的なアクションに向けて、継続的にサポートしていきます。



前年度の探究活動で紹介した『元気づくりウォーキング』を通じた日常生活における運動定着の評価に関する成果は、第24回IUHPE（ヘルスプロモーション健康教育国際会議）2022に採択され、2022年5月15日～19日にモントリオール（カナダ）で発表されます。

プロジェクト概要

●テーマ

ふたば未来学園「未来創造探究」福祉に関するオンライン講義

●パートナー

早稲田大学環境総合研究センター・福島県立ふたば未来学園高等学校

●担当教員

江川 賢一 教授

●実施期間

2021年2月～継続

運動生態学研究室では、ふたば未来学園高等学校の総合学習支援を通じて「食」「運動」「健康」と「持続可能な社会」に関する調査研究を進めています。